

KB-701

Speaker Station

取扱説明書

松田通商株式会社

概要

スピーカー/マイク内蔵の1チャンネルスピーカーステーションです。

取り付け

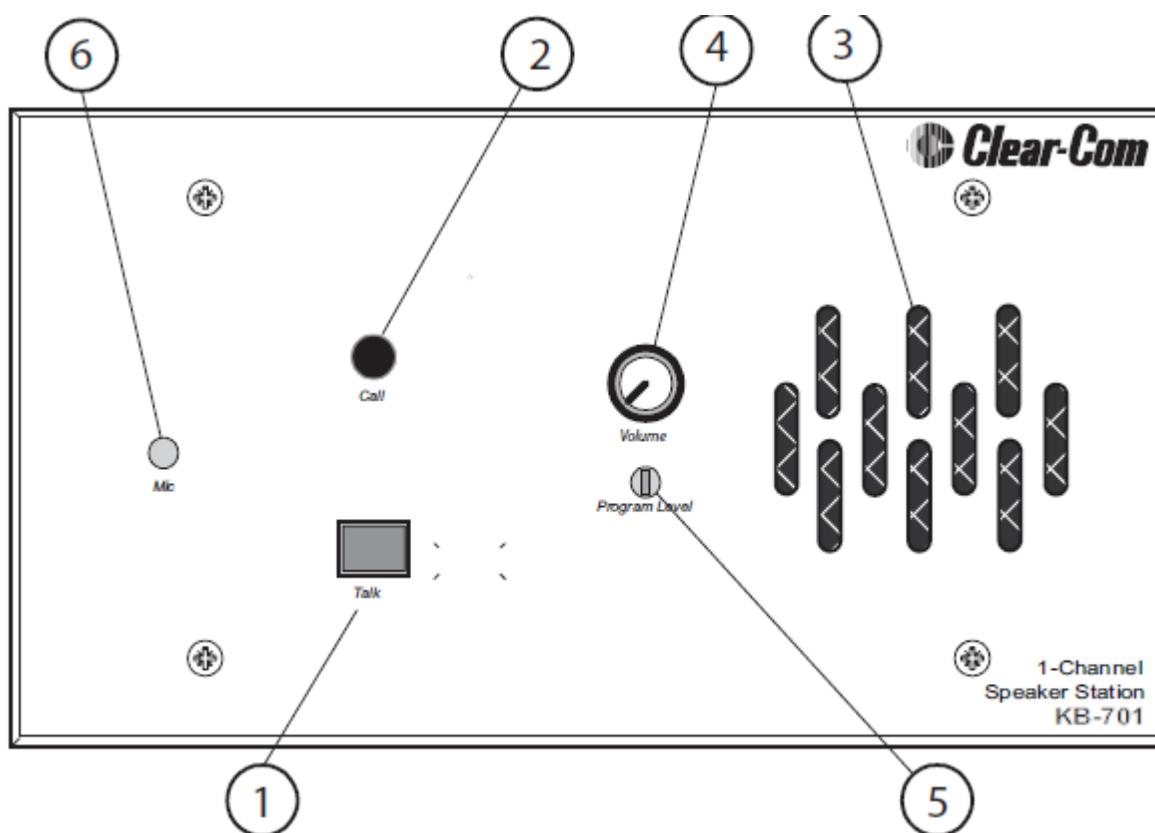
固定の場合

4ケロSWボックスに取り付けます。接続は、他のステーションから配線された2芯シールドマイクケーブルを5PINターミナルブロックに接続します。プログラムは、3PINターミナルブロックに接続します。

ポータブルの場合

別売のV-BOXを用います。接続は、V-BOX内部の5PINターミナルブロックに接続します。他のステーションとの接続は、V-BOX外部にあるXLRコネクタを用いて他のステーションと接続します。

プログラムは、3PINターミナルブロックに接続しますがこの場合プログラムを入力するコネクタを別途に用意する必要があります。



操作

①トークボタン/インジケータ

トークボタンは、プッシュ・トゥ・トークスイッチで押している間だけトークが出来ます。通話は双方向ではなく片側方向で、ボタンを押している時は相手側は聞こえません。

②コールボタン/インジケータ

ボタンを押すと選択したチャンネルにコール信号が送信されます。選択したチャンネルにコール信号が送信または、受信している場合インジケータが点灯します。

③スピーカー

音声を出力します。

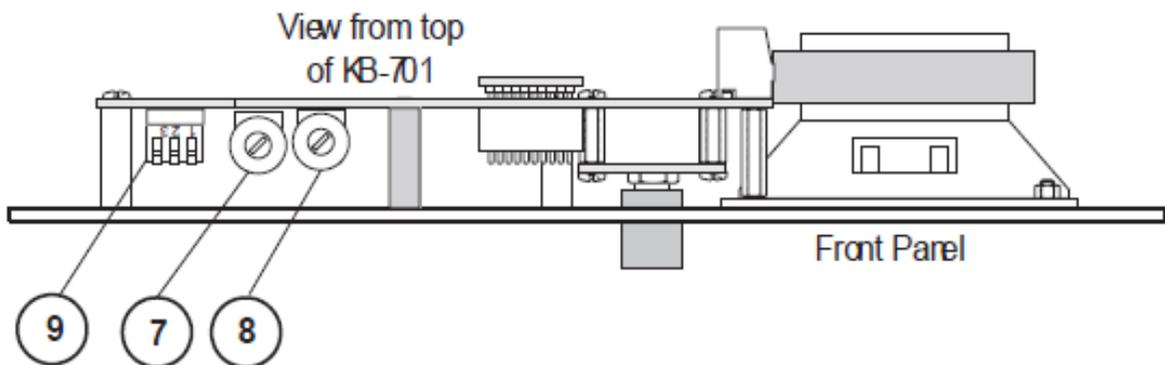
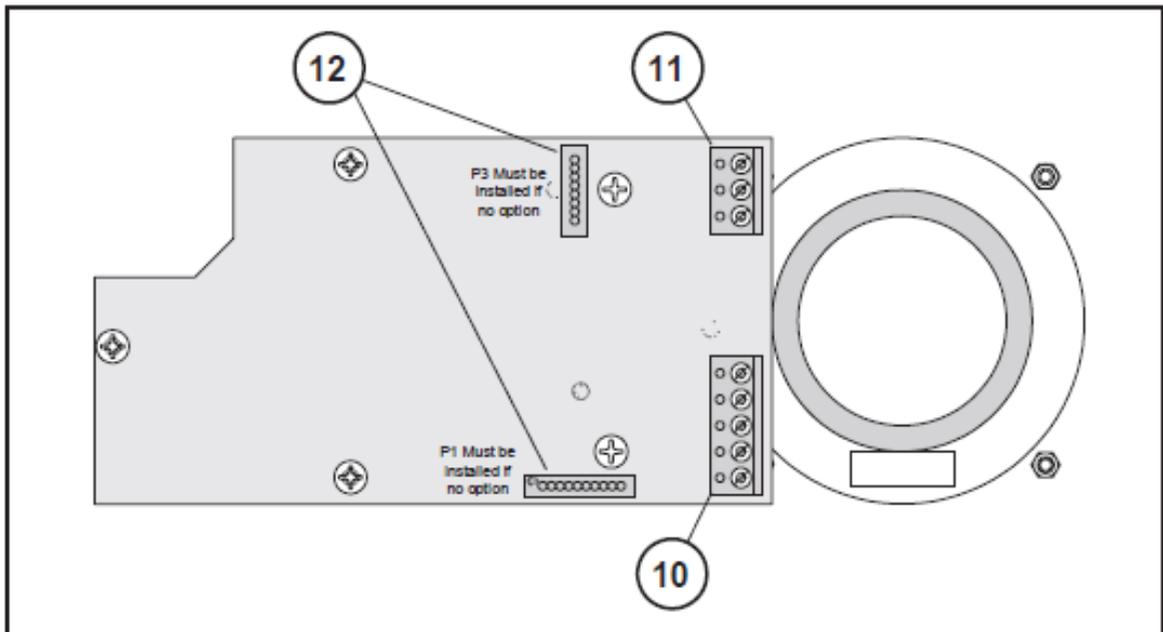
④インターカムレベルコントロール

スピーカーとヘッドセットスピーカーのレベルを調整します。トーンアラートとプログラムのレベルは、内部にあるそれぞれ別のトリムで調整します。

⑤プログラムレベルコントロール

プログラム信号のレベルを調整します。

⑥ビルトインマイクロフォン



内部設定

⑦コールアラートレベルコントロール

コール時のブザーのレベルを調整します。
ブザー音が必要ない場合は絞り切って下さい。

⑧ミニマムボリュームコントロール

このコントロールは、フロントパネルのインターカムレベルコントロールの最小設定を調整します。このコントロールを設定すると、ユーザーが誤ってインターカムレベルを下げてしまっても、全く音声が聞こえなくなるという事を防ぐことができます。

⑨オプションスイッチ

3個のDIPスイッチにより設定の変更が行えます。

S1 マイク感度調整

話し手がマイクと60cm以内の場合はON

それ以上離れる場合はOFF

S2/S3 モード設定。通常はノーマルです。

モード	S-2	S-3	動作
ノーマル	OFF	OFF	スピーカーはON マイクはトークボタン押ししている間ON
リモートページ	OFF	ON	スピーカーを外部からのコール信号でONにする マイクはトークボタンでON
リモートリッスン	ON	OFF	スピーカーはON マイクは外部からのコール信号でON又はトークボタンでON
リモートリッスン・ページ	ON	ON	マイクはON スピーカーは外部からのコール信号でON又はトークボタンでON

接続

⑩Intercom Line は下記図のように接続します。

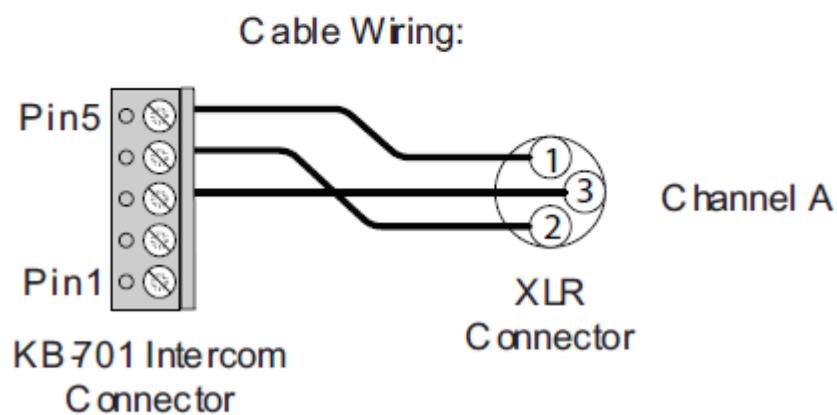
Pin #1 --- (NC)

Pin #2 --- (NC)

Pin #3 --- Channel A Audio

Pin #4 --- Power

Pin #5 --- Ground (Shield)

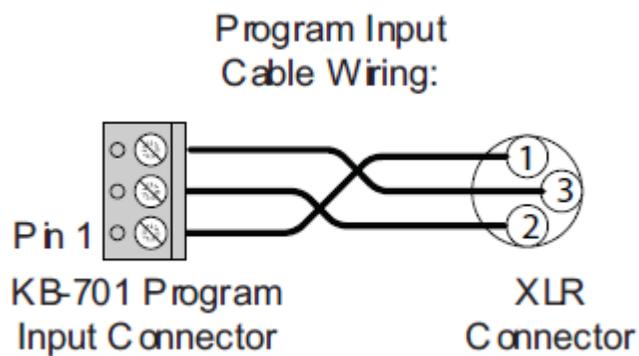


⑪Program Line は下記図のように接続します。

Pin #1 --- Ground (Shield)

Pin #2 --- + Signal

Pin #3 --- - Signal



⑫オプションボードジャンパー

2つのオプションジャンパープラグは4ワイヤーインターフェイス「EB7-4W」を取付ます。

KB-701 BLOCK DIAGRAM

The following is a block diagram of the KB-701 speaker station:

